

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

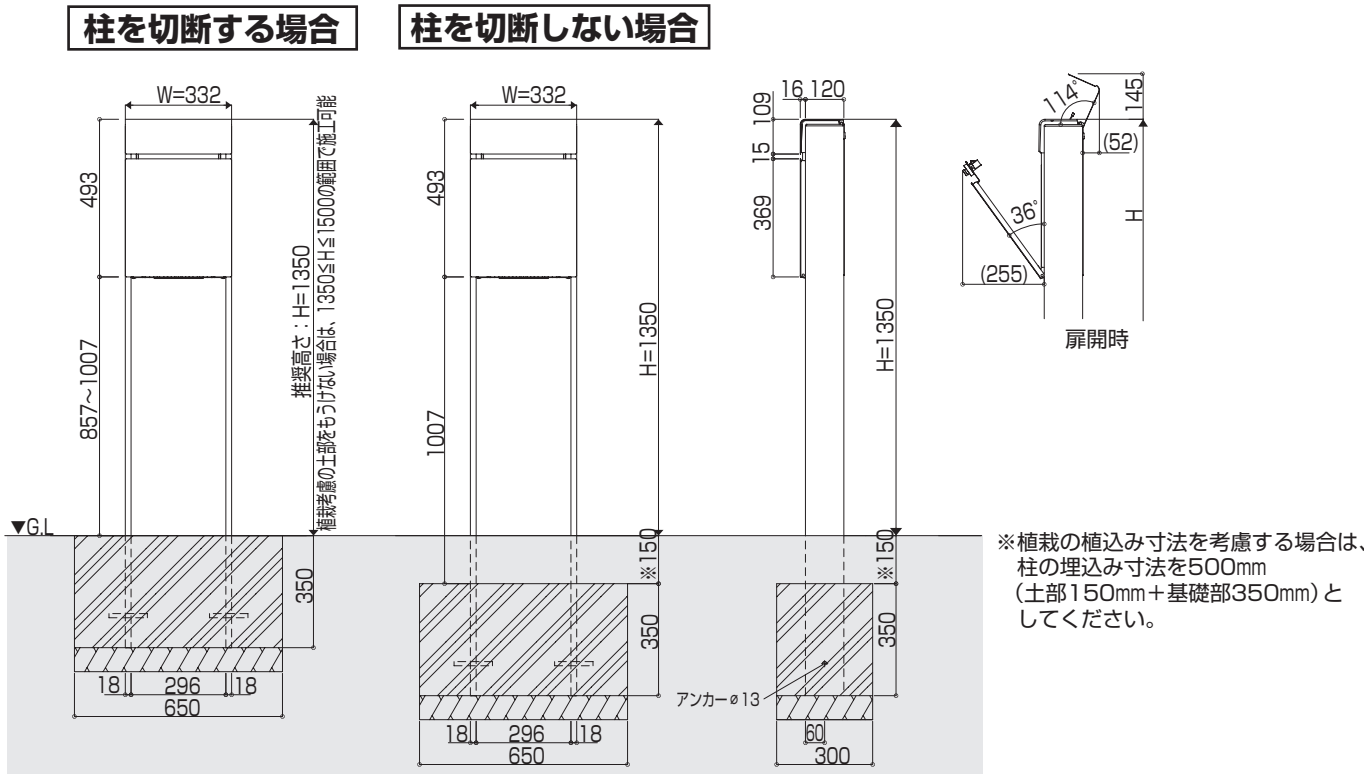
変更

パッキンを追加しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

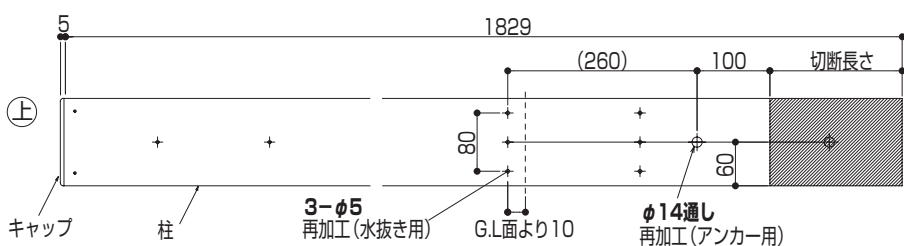
- お願い**
- 商品 を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
 - 通行の妨げとなる場所への設置は避けてください。事故の原因になります。
 - ポストは水平に施工してください。故障や漏水の原因になります。
 - 基礎コンクリートには塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しないでください。腐食の原因となり、破損事故につながるおそれがあります。
 - みだりに改造や変更はしないでください。事故や故障の原因になります。
 - 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷いてください。また、柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。
 - 組立は、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は漏水や事故の原因になります。
 - 開錠番号シール、調整具をお施主様にお渡しください。
 - 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

寸法図(単位: mm)



柱の切断・加工

- ①各柱の切断寸法を決めてください。(推奨切断長さ: 150mm)
- ②各柱の下端を切断してください。
- ③柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合、穴加工(φ14通し)をしてください。
- ④水抜き穴加工(φ5)をしてください。



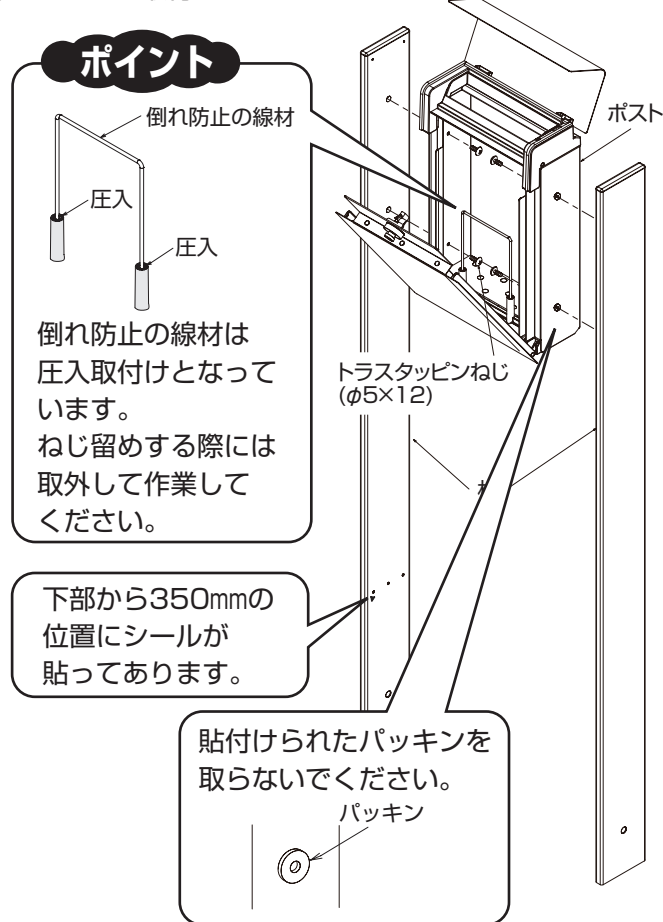
同梱一覧

姿 図					—			—
品 名	柱	ポスト本体	トラスタッピンねじ(φ5×12)	アンカー(φ13×120)	組立・施工説明書	開錠番号シール	調整具	取扱説明書
DPB-1Y	—	1	4	2	1	1	1	1
DPB-1Y-XA	—	1	4	2	1	1	1	1
DPB-1P-15	2	—	—	—	—	—	—	—
DPB-1P-15-XA	2	—	—	—	—	—	—	—
備 考	—	—	ポスト取付用	柱埋込用	—	※	※	—

※ダイヤル錠の開錠番号変更時に使用します。詳細は取扱説明書を確認してください。

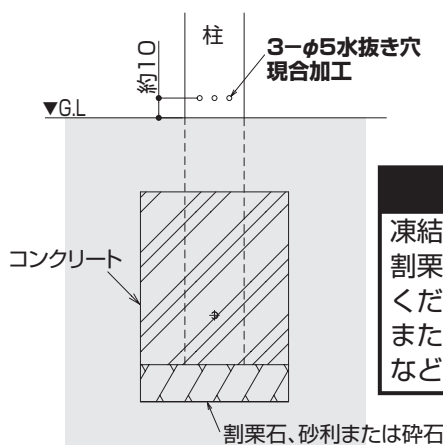
ポストの取付

柱にポストを取付けてください。



柱の埋込み

- ①柱の内側にそれぞれ水抜き穴をあけてください。
- ②柱にアンカーを差込んでください。



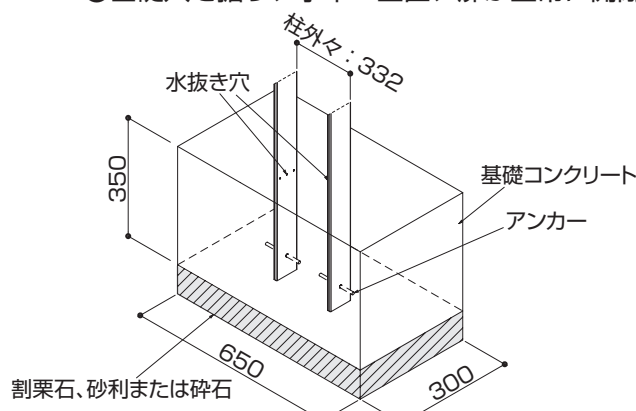
お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷いてください。また、柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。

ポイント

柱アンカーの脱落防止
例: 輪ゴムを柱アンカーにひっかける

- ③基礎穴を掘り、水平・垂直、扉が正常に開閉されるのを確認してコンクリートで固定してください。



お願い

- コンクリート固定前に、柱外寸法332mmを必ず確認してください。寸法が出ていない場合、ポスト扉の開閉に支障をきたすおそれがあります。
- 基礎コンクリートには塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しないでください。柱の腐食の原因になります。
- 柱位置を決める際、ポストの開閉時に家屋や植栽が干渉しないようにしてください。
- ポストの扉開閉時に扉がポストに干渉しないようにしてください。

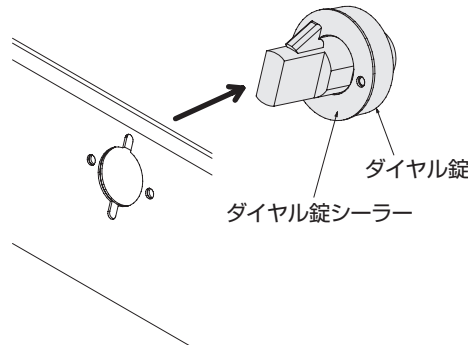
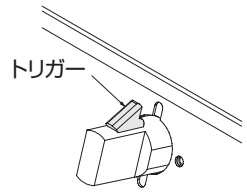
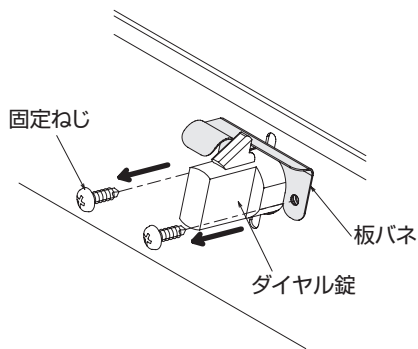
ダイヤル錠の交換

オプション品のダイヤル錠に交換する場合は、下記作業を行ってください。

お願い

ポスト内部の金具（板バネなど）に注意して作業を行ってください。

- ①ダイヤル錠を固定しているねじ、板バネを
取外してください。
- ②トリガーを押倒しながら、ダイヤル錠をポストから取外してください。



- ③取外し時と逆の手順で
交換用のダイヤル錠を
取付けてください。
ダイヤル錠固定ねじは、
板バネと共締めしてください。

投函口のサイズ変更

投函口のサイズを広くする（調整部品の取外し）必要があるかお施主様に確認してください。

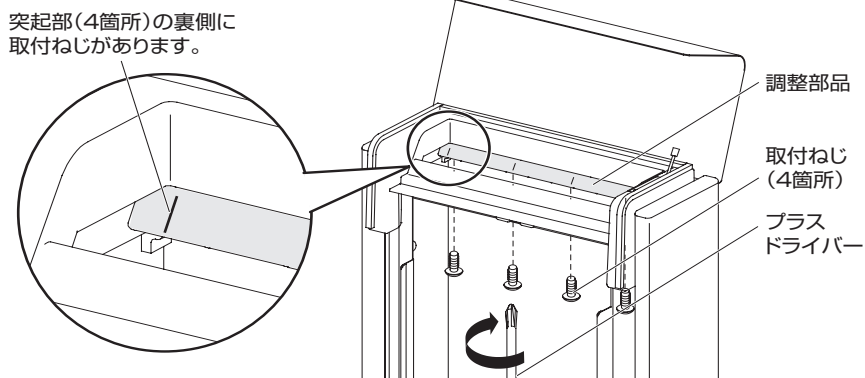
お願い

ポスト内部の金具（板バネなど）に注意して作業を行ってください。

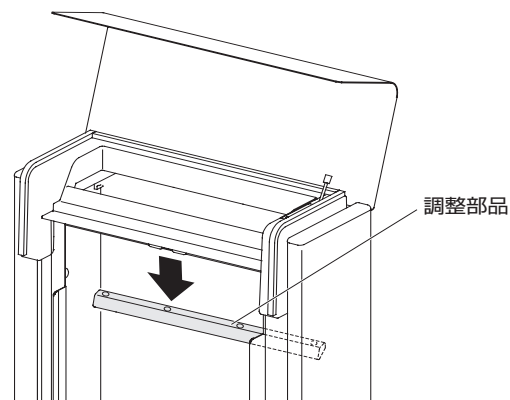
- ①調整部品の取付ねじ（4箇所）を外してください。

ポイント

両端のねじを外してから、真ん中のねじを
外すと調整部品が外しやすくなります。



- ②調整部品を本体から外してください。
外して調整部品、取付ねじはなくさないよう大切に保管してください。



投函口のサイズを通常に戻す場合は、取外し時と逆の手順で調整部品を取付けてください。